



第83回企画展

# 華麗なるササン王朝

—正倉院宝物の源流—

2018年

9月26日水～11月26日月

〔会場〕3階企画展示室

〔開館時間〕9時30分～16時30分（入館は16時まで）

〔休館日〕毎週火曜日

〔入館料〕大人400円 団体300円（20名以上）

小・中学生200円（学校単位の場合は無料・事前申込が必要）  
※障がい者とその介護者各1名は無料となります。受付カウンターに障がい者手帳等をご提出ください。



鍍金裸体婦人文銀八曲長杯



鍍金銀装鉄短剣



鍍金帝王狩獵文銀皿



円形切子ガラス碗



金製短剣装具



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>

天理大学附属  
天理参考館  
ウェブサイト





華麗なるササン王朝  
— 正倉院宝物の源流 —

3世紀に興り約400年もの間、今のイランとイラクの大部分を支配していた帝国がササン朝ペルシアです。周辺文化を取り入れながらイランの伝統文化を国際的なものに高めていきました。制作された文物はシルクロードをわたり、所々で多大な影響を与えました。そして遠くは日本にもたらされているのです。

毎年催される正倉院展には多くの観覧者が訪れます。心奪われる雅な宝物には、異国情緒にあふれるものも少なくありません。そしてその源流はと突き詰めると、ササン朝系文化に辿り着くことがしばしばです。たとえば煌びやかな白瑠璃碗はササン朝で制作されたものであり、金銅八曲長杯はササン朝銀器を模したものです。

日本人からすれば遠い西方の王朝ではありますが、正倉院を通して垣間見れば身近に感じられる文化でもあります。本展では天理参考館が所蔵するササン王朝の遺宝を通してその文化を紹介します。正倉院へと伝わる長い道のりとその悠久の歴史に思いを馳せていただければ幸甚に存じます。



三彩狩獵文胡瓶



白胎加彩胡人俑



鍍金鳥文銀碗



鍍金聖樹女神文銀八曲長杯

【関連イベント】※入館券が必要です。

## ■記念講演会1

## ササン朝ガラスの東方伝播

講師：谷一 尚氏(林原美術館館長)

日時：10月6日(土) 13:30~15:00

会場：研修室

定員：100名(当日先着順)

## ■記念講演会2

## 正倉院宝物に見られるササン朝文化

講師：米田雄介氏(元宮内庁正倉院事務所長、古代学協会理事)

日時：11月3日(土・祝) 13:30~15:00

会場：研修室

定員：100名(当日先着順)

## ■トーク・サンコーカン(公開講演会)

## ササン朝ペルシアの剣と冑

講師：巽 善信(本館学芸員)

日時：11月24日(土) 13:30~15:00

会場：研修室

定員：100名(当日先着順)

## ■ギャラリートーク(展示解説)

日時：9月26日(水)、10月31日(水)、11月26日(月) いずれも13:30~

会場：3階企画展示室

## 《小・中学生入館者プレゼント》

手のひらサイズのハンドブック「ササン王朝って知ってる?」を無料進呈します(先着200名まで)

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <http://www.sankokan.jp/>



アクセス：JR・近鉄天理駅下車 徒歩約20分

西名阪天理インターより南へ約3km(駐車場あり・無料)

※期間により駐車場への入場・駐車が規制される場合があります。

天理大学 附属

天理参考館ウェブサイト

天理参考館

検索

